

西原南小学校の6年生の皆さんが議場見学をしました!

西原南小学校6年生のみなさんが、令和7年5月26日(月)に西原町の議場見学をしました。議場内の議長席や全議席に座り、議会本会議さながらの雰囲気を感じながら、議会についての説明を受けました。また児童から議会に関するたくさんの質問も寄せられ、議会事務局員は丁寧に回答しました。

若い世代が議会に関心をもつことで、様々な意見が反映されやすい地域づくりにつながっていくよう、西原町議会は引き続きこどもたちの見学を支援していきます。



題字制作者

西原小学校6年生

砂川 幸奈さん

すながわ さちな

【ひとこと】

とめ、はね、はらいを意識して書きました。

習字も、もっとがんばりたいです。



表紙の題字と写真を お寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか?

表紙の**題字**(『議会だより』の文字。横書き)と**写真**を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字や写真をお待ちしています。

送付先 議会事務局(議会だより表紙の題字・写真について)

TEL945-5122 FAX945-5045

mail: gikaii_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

6月議会の傍聴者

延べ人数

21人

議会だよりに対するご意見、ご要望等はこちらへ

西原町議会事務局

TEL:098-945-5122

議会広報調査特別委員会
委員 大城 誠一

私が生まれた那覇市繁多川は地名の由来になったハンタガーはじめボージガーやウフカー、イシジャガーなどの湧水が豊富で、その湧水を利用した豆腐作りが古くから知られている。終戦直後から2011年度まで豆腐を作っていた家が55戸あった。また、西原町に在る沖縄森永乳業は、その前は長い間、多川で創業していた。安心安全な湧水は、地域の産業や命を支える源です。しかし、今沖縄の湧水は有機フッ素化合物PFASによる汚染が深刻になっていきます。PFASの健康被害が注目される様になったのは、県民45万人が飲んでいる北谷浄水場の水がPFASで汚染されていると報道された9年前の2016年1月のことです。取水源となっている河川や地下水が汚染されているのが明らかになったと企業局が公表しています。企業局としては嘉手納基地に原因があるのではと立ち入り調査を求めているが、いまだ許可されていないとのこと。PFAS、PFOAは世界的に製造や使用が禁止されている有害物質です。一度汚染された水や土壌周辺の環境に残り続けます。宜野湾市でも普天間基地由来と思われるPFASで汚染が深刻です。沖縄におけるPFAS汚染問題は、汚染源が強く疑われる米軍基地内への立ち入り調査もままならず、まだ行なわれていません。立ち入り調査が速やかに実施できるよう日米地位協定の改定をのぞみます。

つぶやき